

令和6年7月 岩手県教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 令和6年7月22日(月)午後1時30分

閉会 令和6年7月22日(月)午後2時16分

2 開催場所

県庁10階 教育委員室

3 教育長及び出席委員

佐藤 一 男 教育長

新妻 二 男 委員

畠山 将 樹 委員

小野寺 明 美 委員

泉 悟 委員

4 説明等のため出席した職員

菊池教育局长兼首席サービス管理監、坂本教育次長兼学校教育室長

武蔵教育企画室長、黒澤教育企画推進監兼サービス管理監、古川予算財務課長、伊藤学校教育企画監、武藤義務教育課長、中村高校教育課長、千田生徒指導課長、大森参事兼教職員課総括課長兼サービス管理監、中村保健体育課総括課長、小澤生涯学習文化財課総括課長、佐藤文化財課長

教育企画室：女鹿主任主査、安倍主事(記録)

5 会議の概要

第1 会期決定の件

本日より決定

第2 事務報告1 令和6年6月県議会定例会の概要について(教育企画室)

別添事務報告により説明

小野寺委員：「岩手モデル」についていくつか質問が出されたようですが、どんな部分に特に議員が注視しているのか、何か感じるようなところがあれば教えてください。

黒澤教育企画推進監兼サービス管理監：「岩手モデル」につきまして、モニタリングや外部専門家が入っての点検等について、現時点でどこまで検討が進んでいるのかという質問がございましたが、これから検討していきますとお答えしました。教育委員会としても「岩手モデル」を作って終わりではなく、今後しっかりと取組状況等を確認、見直しをしながら取り組んでいきたいということをお伝えして、その部分につきまして議員の皆様にも御理解頂けたのではないかと感じているところでございます。

泉委員：参考資料9ページですが、「こころの相談室」、相談件数が331件と回答があるようですが、どんな内容だったのかお伺いします。

千田生徒指導課長：この「こころの相談室」は相談内容を予め入力して、相談に結び付けるというものでございます。最も多い相談内容は自分のこと、これは一番多かったところでございます。2つ目として友達のことが続きます。数としては自分のことは156件、それから友達のことは33件、3番目として先生のこと14件でございます。

泉委員：自分のことというのは、具体的には、将来に対する不安や進路のことなど、そういうことでしょうか。

千田生徒指導課長：このシステムではそこまで詳細に集計しているものではないですが、校長先生等からお聞きするところでは、学業や進路等についての相談がよくあるということは聞いてございます。

泉委員：有効に機能しているという認識で良いでしょうか。

千田生徒指導課長：有効に機能しているというふうに認識してございます。この窓口になっており

ます副校長の感想でございますが、いくつか紹介させていただきますと、悩みを抱えているがどのように対応しているのかわからない生徒にとっても、とてもいいシステムと考えられる。言葉で発信できない生徒はこのツールでサインを発信しやすくなっており、有効なツールの一つであることがわかる。さらに端末さえあればいつでもどこからでも発信できるので、良いシステムである。こういった声をいただいております。

泉委員：7ページの部分ですが、教育長が知事答弁を踏まえて同様の状況が複数年続くようであれば、と回答したとあるのですが、複数年というのは具体的に2年連続というような意味で捉えてよいでしょうか。

教育長：これは単年度では判断できませんということです。早ければ2年もありということです。つまり、複数年の状況を見させて欲しいという答弁で、学級減する場合も単年度では減らしたりしないので、その裏返しとすることの発言であります。ですので、複数年については2年なのか3年なのかということをはっきりしているものではないでございます。

泉委員：私の個人的な思いとしては、魅力化を一生懸命頑張った学校があって、地域にも発信し、地域から認められて生徒が来ている。そして残念ながら、44名という一歩踏み込んだ配慮をしてもらって、40名で切らなかったにしても、44名に漏れた子が複数いた。そこについて、西和賀の地元の生徒も不合格になったようですが、その生徒にとっては、やはり残念な結果だったろうと思いますし、来年度どうなるんだろうと、おそらく地元では話題になっているだろうと思います。それが逆に自主規制と言いますか、自分たちがもしその学校を希望したとしても、定員を超えるようであれば違う高校に行こうと思う生徒がひょっとしたら出ないとも言えない。それも含めて中学生の進路選択だと言えればそれまでですが、以前にも成果主義的な話をさせてもらいました。せっかく魅力化を頑張っている学校があったときに、県として「よくやった、じゃあ背中を押してあげる」ということではなくて、もう1年待つということが正しいことなのかどうかという思いは正直なところ私の中にあります。もし地域の子供たちの自主規制が働いて、再び40人に達しなかったとなれば、やはり一過性のものであったという判断を県がしてしまうところに、私としては如何なものかという思いも正直なところあります。ですので、「魅力化を頑張れということと、あまりやりすぎるな」というアクセルとブレーキを、県として同時にしていることは問題な部分があるのではないかと思います。来年度の志願者がどう動くかというのは全くわかりませんが、複数年での判断というのであれば、来年度も定員を志願者がオーバーすれば、2学級にした方が、島根の隠岐島前高校が全国的に注目されている時に、岩手にも第二の隠岐島前高校があると全国に知らせた方が、私は岩手にとって大きなメリットもあると思うので、是非前向きに検討して頂きたいと思います。

西和賀高校が定員を大きく超えたのは、いわて留学によるものだけではなく、北上市内からも多くの志望者があったことも一因で、北上市内と地元からの志願者だけで定員をオーバーしている状況に、いわて留学での志願者があったということになりますので、ぜひ柔軟に学級増を考えていただきたいという思いだけをお伝えしたいと思います。

もう一点、13ページの地域クラブのところですが、どのくらいの進捗状況なのか、市町村で動いているということもあり、県全体としてはどのくらい把握しているのかわからないかもしれないですが、目標が100%だとするならば、今現在どのくらいの割合なのか、もしわかれば教えていただきたいです。

中村保健体育課総括課長：今、完全に地域移行している市町村については本当に数少ない状況です。

ただ、協議会を立ち上げて検討している地域もございますし、県としての協議会を今年度立ち上げて把握をしていく状況なので、現時点で何%というところまではまだいけないような状況です。

泉委員：わかりました。ありがとうございます。

### 第3 議案第10号 岩手県教育振興基本対策審議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて (教育企画室)

別添議案により説明

原案どおり決定

第4 議案第11号 岩手県立美術館協議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて（生涯学習文化財課）

別添議案により説明

原案どおり決定

第5 議案第12号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて（服務管理監）

別添議案により説明

〔免職 性的姿態等撮影未遂 55歳 男性 中学校 教諭 盛岡教育事務所管内〕

原案どおり決定

第6 議案第13号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて（服務管理監）

別添議案により説明

原案どおり決定

第7 議案第14号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて（服務管理監）

別添議案により説明

原案どおり決定

第8 議案第15号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて（服務管理監）

別添議案により説明

〔戒告 管理監督責任 60歳代 男性 中学校 教諭 県北教育事務所管内〕

原案どおり決定

第9 議案第16号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて（服務管理監）

別添議案により説明

〔減給3月 無車検運行及び虚偽報告 40歳代 男性 中学校 講師 盛岡教育事務所管内〕

原案どおり決定

第10 議案第17号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて（服務管理監）

別添議案により説明

〔戒告 生徒に対する体罰 30歳代 男性 中学校 教諭 県南教育事務所管内〕

原案どおり決定

第11 議案第18号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて（服務管理監）

別添議案により説明

[戒告 横断歩行者妨害等（軽傷事故） 61歳 男性 中学校 教諭 県南教育事務所管内]

原案どおり決定

会議結果の公表は、教育長に一任することとして議決された。